

いぶりの交通安全

胆振の概況2022

- 悲惨な交通事故を減らすために
一人ひとりが、「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」という意識を強く持ち続けていくことが大切です。
事故の無い社会を築いていくため、車を運転するときは速度の出し過ぎによる危険性を認識し、歩行者に対し思いやりのある運転を心がけるよう、交通ルールの遵守や運転マナーの広報・啓発活動に取り組んでいます。

◎第1当事者年齢別事故状況（令和3年・胆振管内）

区分	運 転 者								運 転 者 以 外	合 計
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	小 計		
件数（件）	19	87	67	98	115	91	151	628	16	644
%	3.0	13.5	10.4	15.2	17.9	14.1	23.4	97.5	2.5	100.0
死者数（人）	0	0	0	5	2	1	6	14	0	14
%	0.0	0.0	0.0	35.7	14.3	7.1	42.9	100.0	0	100.0
傷者数（人）	24	109	78	108	139	100	175	733	18	751
%	3.2	14.5	10.4	14.4	18.5	13.3	23.3	97.6	2.4	100.0

※第1当事者とは、事故当事者のうち最も過失が重い者等をいう。（構成割合（%）は小数点第二位を四捨五入）

◎令和3年の交通事故による死者

全 国	2, 636人
北 海 道	120人
うち高齢者	78人
胆 振 管 内	14人
うち高齢者	11人

※高齢者とは、65歳以上の者です。

◎死者数（車両乗車中）のシートベルト・チャイルドシート着用状況

区 分	令 和 2 年		令 和 3 年	
	全 道	胆 振 管 内	全 道	胆 振 管 内
着用あり	29人	4人	35人	4人
着用なし	37人	5人	30人	3人
不明	1人	0人	0人	0人
合 計	67人	7人	65人	7人

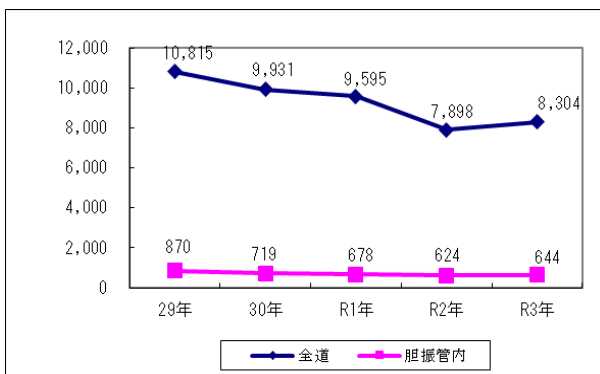
※「着用なし」の中には、シートベルトを着けていれば助かったケースがかなり含まれています。

◎原因別交通事故死者数

	令 和 2 年		令 和 3 年	
	全 道	胆 振 管 内	全 道	胆 振 管 内
車両対歩行者・自転車	51人	5人	42人	6人
車両相互（正面衝突等）	46人	9人	43人	2人
車両単独（衝突・逸脱等）	47人	1人	33人	6人
踏切	0人	0人	2人	0人
合 計	144人	15人	120人	14人

◎交通事故発生件数の推移

（単位：件）



◎交通事故死者数の推移

（単位：人）

